

中医方剂解説 07

中医方剂薬効分類

| 方剂名 | 効能 | 生薬組成 |
|-----------------------|--|---|
| 書籍 | 主治および証 | 病機 方意 |
| 解表剤 辛温解表剤 7 | | |
| <p>さんようとう 三拗湯</p> | <p>宣肺平喘・止咳・解表</p> | <p>麻黄・杏仁・甘草各等分 粉末1回15gを生姜と水煎して服用する。</p> |
| 和剂局方 | <p>主治は、外感風寒（表寒表実証）で、咳嗽・呼吸困難、多痰、鼻閉、嗝声などが主体のもの。肺気不宣が主病態であり、麻黄湯から発汗解表を強める桂枝を除いて行水化痰の生姜を加え、止咳平喘（呼吸困難改善、鎮咳）に重点をおいている。 麻黄湯よりも発汗過多による弊害が少ないので、表寒・表実には先ず本方（三拗湯）を用いる方がよい。</p> | |